

# 商業まちづくり復興課題対応モデル事業について

福島県商工労働部商業まちづくり課

県では、商業機能を維持するなど、避難者や高齢者をはじめとする県民が安心して暮らせる商業まちづくりに資するモデル的な取組を実施する市町村等に対し、「福島県商業まちづくり復興課題対応モデル事業」による支援を行いました。

平成28年度は下記のとおり本事業を活用した取組が実施されました。

## 1. 「吾妻あだたらの伝説ラリー」、「100円商店街ももりん城下町すごろく」（実施団体：吾妻・あだたらの伝説プロジェクト実行委員会）

吾妻・あだたらの伝説プロジェクト実行委員会では、中心市街地の活性化や原発事故に起因する風評被害の払拭を目的に、福島城下町を中心とした地域の歴史や伝説の調査・発掘を行い、それらを巡るスタンプラリーを実施しました。

スタンプラリーには県内外から約2,000名が参加し、中心市街地等を巡ったほか、サブイベントとして実施した「100円商店街ももりん城下町すごろく」にも多くの人々が訪れ、中心市街地への集客と賑わいの創出が図られました。



吾妻あだたらの伝説ラリー



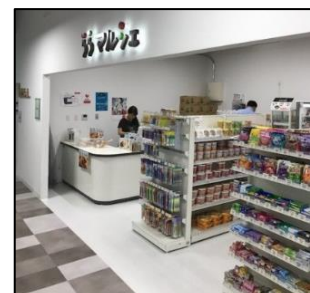
100円商店街ももりん  
城下町すごろくの様子

また、吾妻あだたらの伝説ラリーで配布した福島市の歴史や伝説を記載したカードは、希望した小学校等にも配布を行ったことから、今後も、郷土福島の歴史に興味を持って中心市街地等に来街する子供達の増加が期待されます。

## 2. 「街なかいきいき活動事業」（実施団体：（株）楽市白河）

（株）楽市白河では、中心市街地の高齢化への対応から、買い物環境向上を図るため、リニューアルオープンした「マイタウン白河」内の小売店舗「ららマルシェ」の商品を陳列する冷蔵庫や棚等を整備しました。

また、住民の健康増進や交流を目的に親子料理教室やスタンプラリー、高齢者エクササイズ教室を開催しました。



小売店舗「ららマルシェ」



七夕飾り

平成28年11月の開店以降、白河市中心市街地周辺に住む高齢者等が弁当や惣菜を求め来店しているほか、駄菓子などを求め来店する親子連れで連日賑わいを見せています。

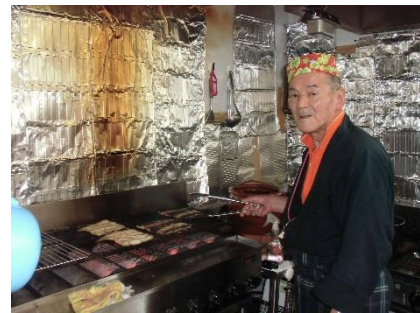
平成29年4月からは、マイタウン白河内に介護専門学校が開校し、専門学校と連携した中心市街地での取組が期待されます。また、平成29年7月には周辺の店舗20店舗と連携してスタンプラリーが開催され、市民がまちなかを回遊する取組につながっているほか、マイタウン白河カルチャー教室では、高齢者向けの運動教室、親子を対象とした手作りパン教室や消しゴムはんこ作りなどが計画されており、今後も中心市街地に人を呼び込む取組が期待されます。

### 3. 「都路商業施設Domo古道店厨房改修事業」 (実施団体：田村市)

田村市都路地域の商業機能の継続的な確保、帰還促進を図るため、平成26年4月に整備された公設民営商業施設「Domo古道店」を活用して、かつて都路地域の繁盛店として地域経済の活性化に寄与していたうなぎ店を復活させ、地域の商業機能の回復・増進を図りました。

平成29年4月のうなぎの販売再開と同時に懐かしの味を求め県内各地から多くの方が訪れ、賑わいを取り戻しつつあります。うなぎは蒸さないで焼き上げるため、身が締まり食べ応えは十分です。

また、うなぎ以外にも特製カツ丼や各種弁当の販売に力を入れるなど、都路地域のさらなる活性化が期待されます。



うなぎを焼く店主の門馬さん



うなぎを頼るお客さん